

認証年度: 令和2(2020)年度

繊維工業

つるがいなっせんこうぎょう
鶴貝捺染工業株式会社

〒326-0842

足利市今福町211

<https://www.tsurugainassen.jp/>

東武伊勢崎線足利市駅から徒歩37分 北関東道足利ICから15分

お問い合わせ先

TEL:0284-21-2240

FAX:0284-21-7789

Email:nature2240@tmt.ne.jp



ここがセールスポイント 洋装・和装・小物まで何でも捺染できます。

洋服の生地、和服時、雪洞などの小物類まで様々な用途の生地の捺染ができます。また柿渋染めは生地だけでなく、バッグや帽子など製品にも染色できます。

会社概要

代表者名 代表取締役 鶴貝雅廣

資本金 500万円

年商

従業員数 4人

設立 昭和43年12月25日

取得規格

主な拠点・主要取引先

拠点: 足利市 主要取引先: 国内外服地メーカー、服飾メーカー、和装関連メーカー

事業内容

繊維製品の捺染加工

従来の着物地で小幅織物(43cm)であった銘仙を洋装でも利用しやすいように広幅(110cm)で製造できる技術を開発しました



銘仙の作業風景

小幅(38cm)でしか製造されていなかった銘仙生地を染料、捺染装置を開発して広幅(114cm)に捺染を実現しました。広幅で捺染することにより、洋服として効率的に使用できるようになり、和装でしか使用されなくなった銘仙の利用範囲を広げました。



代表取締役
鶴貝 雅廣

社長からのメッセージ

「常に新商品を開発して市場に投入する」をモットーに技術開発を進め、広幅銘仙のほか柿渋の染料化の研究を行い、柔らかい服地として利用できるようにしました。また、和装関係では縫製も自社一貫生産できる体制を整えお客様のニーズに素早く対応できるよう心掛けております。

その他にもこんなものを造っています！

祭裃や帯、雪洞などの和装関連を行っております。裃は捺染から縫製まで自社生産ができます。また、繊維技術支援センターとの共同研究から通常顔料として使われる柿渋を染料化して柔らかく使用できるようにしました。柿渋には消臭効果があり(一財)カケンテストセンターに依頼し、靴下で試験したところアンモニアガス99%以上、酢酸ガス96%以上、イソ吉草ガス(汗臭)98%以上、ノネナールガス(加齢臭)97%以上の消臭効果があるとの結果が出ています。柿渋を染料としてインナーや靴下に使用した自社商品も製造しております。